

令和元年



公益財団法人 日本漢字能力検定協会主催 2019年「今年の漢字」® 第1位「令」

令和最初の一年を振り返る



那賀防火管理協議会会報

第41号

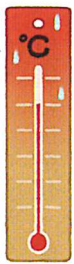
編集・発行
那賀防火管理協議会
事務局
(那賀消防組合内)

平成最後の年は、例年にならぬ規模の自然災害や気候変動に伴う異常気象が、日本各地で毎月のように起こりましたが、令和になって初めての年はどうだったか、振り返ってみようと思います。

令和が始まった5月に、宮崎県と千葉県で震度5弱の地震が起りました。



また、5月下旬に北海道のオホーツク地方で39.5度の高温を記録。

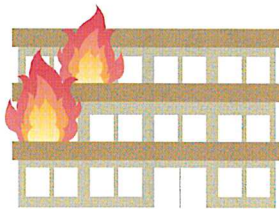


6月には山形県沖地震が発生し新潟で震度6強を観測。11cmの津波が到達しました。

7月には、活発化した梅雨前線が九州南部に停滞、鹿児島・宮崎県を中心に100mmを超える大雨となり、土砂災害や河川の氾濫、堤防の決壊が発生しました。



同月18日には、京都市伏見区の京都アニメーションにガソリンを撒いて放火する事件が発生。36名が死亡、34名が負傷する平成以降最多の死者数となる事件が起こりました。



8月には、宮城・福島県で震度5弱の地震。月末には秋雨前線が停滞、線状降水帯も発生し観測史上最大を記録する猛烈な雨となり、福岡・佐賀・長崎県で冠



水被害などをもたらししました。



9月に入り、9日に台風15号が首都圏を中心に猛威を振るい、千葉県で最大瞬間風速57.5mを記録、猛烈な雨も降り、千葉県を中心に大規模な停電が長期間続くなど大きな被害が発生しました。



10月12日には、台風19号が伊豆半島に上陸、13都県に大雨特別警報が発令され、河川の氾濫、決壊が同時多発し、浸水面積は昨年より西日本豪雨を上回り、98名の方が犠牲になりました。この災害は激甚災害、特定非常災害に指定されるほどで、関東地方や甲信地方、



東北地方の広範囲に甚大な被害をもたらす結果となりました。

さらに、この台風で被災した地域に追い打ちをかけるかの如く、低気圧に向かって湿った空気が流れ込み、千葉県や福島県を中心に記録的な大雨が降り、河川の氾濫、土砂災害、道路冠水など更なる被害が発生しました。



同月の31日、沖縄県にある首里城で大規模な火災が発生、正殿、北殿、南殿が全焼する火事となりました。



災害が多発した平成最後の年に続いて、令和元年も自然災害、特に風水害に見舞われた年となりました。

近年、台風や気候変動に伴う風水害は人や家屋などの被害にとどまらず、電気、水道、交通機関などのライフラインの途絶被害へと拡大し、災害は広域化・多様化の様相を呈しています。

一人ひとりが現状の防災に関する意識を高め、「いままでの・・・」や「想定外」という概念を捨て、被害を軽減できるような、強いては「命を守る行動」をいつでもとれるよう、心掛けなければならぬ時期にきていると、感じさせられた令和最初の年でした。

通電火災に注意!!

通電火災とは何?

通電火災とは、地震や風水害などの災害で停電となった後、数時間から数日、災害の規模によつては数週間かかるかもしれないが、電気が復旧した時に起きる火災のことです。

大地震や巨大な台風など送電線などが切れると停電が起こり、その復旧に伴って通電火災が起こります。

阪神・淡路大震災で、原因が特定された建物火災の約6割が、通電火災によるもので、東日本大震災

で発生した火災も65%が電気に起因するものといわれています。上記に記載した千葉県内の大規模停電でも、復電時に通電火災とみられる火災が相次いで発生しています。

★日頃から注意すること★

ヒーターなど電気を使用する暖房器具のそばに燃えるものを絶対に置かない。

使わない電気器具のコンセントは抜いておく習慣を身につける。

★停電中にする★

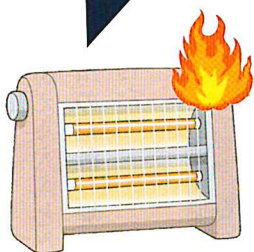
使用中の電気器具のスイッチを切り、コンセントを抜いておく。

自宅などから避難する時は、ブレーカーをオフにする。

★電気復旧後にすること★

地震や浸水などで電気機器が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、ガス漏れなどがないか十分安全を確認してから電気機器を使用する。

故障した家電を使うと出火のおそれ!





防火管理協議会 一年を振り返る

四月

▼第1回理事会を開催

4月23日、那賀消防組合消防本部において、第1回理事会を開催しました。(18人が出席)



五月

▼定期総会を開催

5月21日、岩出市宮ホテルというバンケットホールにおいて、令和元年度定期総会が開催され川端那賀振興局長様をはじめ中芝岩出市長様のご臨席のもと盛大に行われました。

最初に笠松会長から「例年になり規模の自然災害や気候変動に伴う異常気象が、日本各地で毎月



ように起こった平成最後の年を振り返り、南海トラフ地震等の大規模災害はもとより、巨大化する台風などの風水害にも対応できる様、より積極的に活動していく必要がある」と挨拶がありました。出席者は、会員36事業所から41人、参与及び事務局を併せ55人が出席され、議事審議は、全て原案どおり承認されました。

また、会員事業所における防火



(優良会員表彰：貴志川工業株式会社)

管理の重要性を深く認識し、当協議会が主催する自主防災に関する事業活動に積極的に参加された貴志川工業株式会社に、その功績をたたえ、笠松会長から平成30年度

優良会員表彰が行われました。

また、特別講演では、岩出保健所保健福祉課の酒匂美也子様「手話を学ぼう」についてご講演を頂きました。酒匂様には、私達協議会のため大変お忙しい中、ご講演頂き有難うございました。



(特別講演 酒匂美也子様)

六月

▼消防組合防災ひとつづくり事業の

標語へ応募協力

表彰式及び展示会は、12月8日、9日に紀の川市粉河、粉河ふるさとセンターにおいて盛大に開催されました。防火標語には3,478点の応募があり、標語審査委員による厳正なる審査の結果、那賀防火管理協議会の会員も表彰を受けました。今回入選された方々は次のとおりです。

【優秀賞】
和歌山ノーキョー食品工業(株)
桃山工場 二宮 正義

【優秀賞】
医療法人彌栄会
介護老人保健施設 やよい苑
米田 大二郎

【秀作】
医療法人殿田会 中山 太郎

【佳作】
パナソニックグループUS社三洋電機(株)テスラエンジニア事業部大阪・和歌山工場 千田 義信

【佳作】
パナソニックグループUS社三洋電機(株)テスラエンジニア事業部大阪・和歌山工場 村垣 縁

【佳作】
株式会社総合車両製作所
和歌山事業所 高木 滉太

【佳作】
医療法人殿田会 上木原 健治

【佳作】
医療法人彌栄会
介護老人保健施設 やよい苑
大和 久仁子

【佳作】
岩出市役所 正木 理恵

【佳作】
岩出市役所 田林 希望

八月

▼普通救命講習会

8月20日・22日・23日の内、午
前午後の計
4回、那賀
消防組合消
防本部にお
いてAED
を使用して
の普通救命
講習会を開
催しまし
た。受講者
は、21事業所から91名が受講しま
した。(別 載)



▼第2回理事会を開催

10月9日、那賀消防組合消防本
部において、第2回理事会を開催
しました。(18人が出席)



(理事会風景)

▼第18回消防操法大会開催

消防操法大会が10月25日、紀の
川市花野、打田若もの広場におい
て那賀消防組合と那賀防火管理協
議会が共催のもと、大会当日は天
候不良もありましたが、多くの来
賓・関係者にご臨席いただき盛大
に開催されました。(別 載)

▼秋季全国火災予防運動に伴う
実施要綱作成

火災予防運動期間中(11月9日
から11月15日)事業所の実践活動
の取り組みとして火災予防運動中
の実施要綱を作成しました。
(70事業所で実施)



▼会員視察研修を実施

11月18日、那賀防火管理協議会
の会員研修を実施しました。今回
の研修は、神戸空港にある「神戸
空港消防所」と神戸市北区にある
「神戸市民防災総合センター」に
て防災に関する研修を受けまし
た。(別 載)

十二月

▼第11回紀の川市防災総合訓練
に参加

12月8日、紀の川市花野、紀の
川市民体育館にて、紀の川市防災
総合訓練が実施されました。当協
議会から12事業所39人が参加し
「家具転倒防止講座」と「ペット
の防災対策」の講義を受けました。



一月

▼那賀消防組合消防出初式参加

1月12日、令和2年那賀消防組
合消防出初式が紀の川市花野、紀
の川市民体育館及び西側駐車場に
おいて盛大に開催され、那賀防火



管理協議会会員事業所22事業所96
人が参加しました。
第一部は、式典、和歌山県立貴
志川高等学校とリヤンウインド
オーケストラによる演奏披露・幼
年消防クラブ員(紀の川市那賀地
区の名手保育園)による防火演技
が、体育館内で実施されました。
出初式式典には、婦人防火クラ
ブ・自主防災組織・消防職員と那
賀防火管理協議会の各事業所から
自衛消防隊が参加しました。



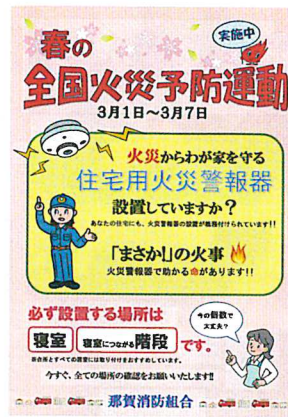
(各事業所の式典参加)

二月

春季全国火災予防運動に伴う

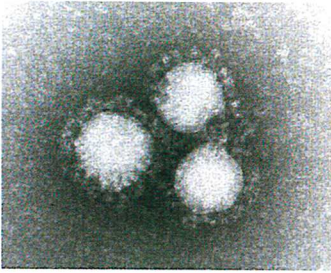
実施要綱作成

火災予防運動期間中（3月1日から3月7日）事業所の実践活動の取り組みとして火災予防運動の実施要綱を作成しました。（68事業所で実施）



三月

新型コロナウイルス 和歌山県内で感染者発生！



救出・救護訓練開催を中止

3月9日、岩出市中迫の那賀消防本部駐車場内において、地震により倒壊した建物内の要救助者

を、一般家庭や会員事業所付近にある資機材を活用して「救出・救護」する訓練を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、訓練の参加者及び関係者の健康・安全を第一に考慮し、訓練を中止しました。

感染者拡大防止対策として各事業所あてに手洗い、咳エチケットなどの感染症対策への協力をお願いしました。



今回はやむを得ず中止という形となりましたが、地震などの災害はいつ発生するかわかりません。いざという時、役立てる訓練を今後も計画していきますので、ご参加いただきたいと思ひます。

会報第41号発刊

会報第41号を会員事業所及び那賀防火管理協議会の運営にご指導、ご協力をいただいている関係機関等へ発刊しています。

普通救命講習会



AED

毎年、夏季に普通救命講習会を開催しておりますが、今回も岩出保健所と共催で実施し、多くの事業所からたくさんの方が受講しました。突然のケガ人や急病人が発生したとき、家庭や職場でできる「心急手当」、急性心筋梗塞や脳卒中など、心臓や呼吸が止まってしまうような重篤で緊急を要するときに「救命処置」を、一人でも多くの方に実施してもらい、更には「救命の連鎖」の一役を担っていただきたいと考えています。また、2〜3年に1回は再講習という形で受講するようお願いしています。受講後、時間が経つと手技などを忘れてしまうこともあり、5年に1回、心肺蘇生に関するガイドラインも改正されています。事業所内で受講された方が、不在だと周囲にいる方も慌てて、必要な処置などできない場合があります。すべての人が受講してい



胸骨圧迫中に除細動パッドを貼る際は、胸骨圧迫をできるだけ中断せず、装着します。



ショックボタンを押す時は、家族や関係者が傷病者に触れていないか確認してから押します。

ただ、だれでも対処できるのが理想ですので、今後も受講されていない方や、再講習の対象の方は受講していただくようお願いいたします。



講習会の様子

第18回消防操法大会開催

10月25日、紀の川市花野、打田若もの広場において第18回消防操法大会を開催しました。大会当日は天候不良の影響からグラウンドコンディションを含め心配されましたが、会員事業所から43チーム110人が参加して、公式練習の成果を披露しました。川端那賀振興局長様をはじめ、多数のご来賓を迎え、盛大に開催されました。



開会式での各事業所整列の様子

開会式では、昨年度各種目1位の代表チーム（消火器操作の部）医療法人彌栄会介護老人保健施設やよい苑から優勝トロフィーが大会顧問の中芝消防組合管理者に返還されました。



トロフィー返還



選手宣誓

最後に、岩出市役所の田川絵里菜さんが、「私たち選手一同は、消

火技術の向上を目的に訓練を行ってきた成果を、精一杯発揮することを誓います」と力強い宣誓を行い、各競技が開始されました。

各競技とも、公式練習で積み上げた成果を出すべく頑張っていたのですが、コースの状態が回数を重ねるごとに悪くなってきたことで後半出場したチームには、申し訳ない感が残る形となってしまいました。

ただ、公式練習で操法大会に向け訓練をする過程で、それぞれの消防用設備（消火栓や消火器）の使用手法や放水・消火に関する技能・知識を習得し、各事業所で何かあった場合、「私たちの職場は、私たちが守る、」という自助を実践できる自衛消防隊が増えていくと確信でき、操法大会の目的は充分達成できていると思います。

ご参加いただきました選手の皆様や応援にいられた各事業所の皆様、関係者各位、コンディションがベストでない中、また長時間にわたり、ご苦勞様でした。入賞された皆様、おめでとうございます。また入賞されなかった皆様も、一生懸命公式練習で頑張っていた姿を拝見し、とても心強く感じました。

今後も、各種災害の防止に平素から取り組み、職場や家庭での防火対策の徹底をお願いしたいと思います。



各種競技の様子

第18回操法大会結果



〔屋内消火栓1号栓の部〕



- ★第1位 近畿大学生物工学部
- ★第2位 紀の川市役所
- ★第3位 和歌山県那賀振興局
- ★特別賞 医療法人 彌栄会

介護老人保健施設
やよい苑

〔屋内消火栓2号栓の部〕



- ★第1位 岩出市役所
- ★第2位 紀の川市役所
- ★第3位 医療法人共栄会
- ★特別賞 バンドー化学(株)

名手病院
和歌山工場

〔消火器操法の部〕



- ★第1位 パナソニックグループ
- ★第2位 US社 三洋電機(株)
- ★第3位 テスラエナジー事業部
- ★特別賞 大阪・和歌山工場

岩出市役所
デュプロ精工株式会社
紀の川市役所

〔屋外消火栓操法の部〕



- ★第1位 医療法人 彌栄会
- ★第2位 介護老人保健施設 やよい苑
- ★第3位 紀の川市役所
- ★特別賞 社会福祉法人 渉久会

特別養護老人ホーム
ももの里

会員視察研修

11月18日



今回の視察研修は、神戸市中央区にある「神戸空港消防所」と北区にある「神戸市民防災総合センター」で防火防災について研修を受けました。

空港消防所には、航空機災害に対応した特殊車両が配備されており、少ない台数で大型旅客機の災害に対応する、その性能や能力に驚きました。

午後からの「神戸市民防災総合センター」では、全国で初めてVR（仮想体験）による土石流を体験できる研修があり、神戸市民対象の研修を特別に受講させていただきました。体験では、臨場感のある土石流の様子が映し出され、土砂や石、倒れた木々、土石流で流されてきたバイクなどが、自分の身にふりかかると感じるような状況では避難しませんでした。このような状況では避難しても、その途中で土砂災害に巻き

込まれ命を落とすと実感しました。また、訓練塔を使用しての煙体



VR体験中!ゴーグルを付けるとそこは災害現場の中.....

験では、塔内はより分かりにくいように漆黒に塗られており、避難するのに「怖い」という感覚を感じました。

担当講師の説明もユーモアを交えながら、楽しく、わかりやすく会員の方も勉強になったと思います。火災実験の講義の中で、職場を守るための防火、防災に関する説明や、トラッキング現象（トラッキング現象とは、コンセントとプラグの隙間にホコリが溜まり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のこと）を実際に実験して見せていただきました。

当初予定していた、冠水歩行訓練や暴風雨体験、避難器具体験は残念ながら防災総合センターの都合で体験できませんでしたが、協議会



員用にプログラムを考えて対応していただき、学生消防団員や女性の会員も参加があったので、学べることは多かったのではないかと感じました。

この研修を機に、風水害、特に避難に対しての防災意識の向上につながればと、期待と希望を強く感じました。

最後に、道中事故も無く、参加いただいた会員の皆様にも満足いただき、有意義な研修であったと思います。



空港消防所
ファイヤーこうべ1前にて

那賀防火管理協議会役員名

- 会長 医療法人共栄会 名手病院 事務長 笠松 正志
- 副会長 デュプロ精工株式会社 業務部門リーダー 田村 健
- 副会長 株式会社台和 和歌山工場 総務担当 駒阪 康典
- 監事 株式会社メイワ 総務部部长 岡 徳治
- 監事 ホテルいとう 取締役支配人 北田 信幸
- 理事 近畿大学生物理工学部 参事 中道 芳正
- 理事 パナソニックグループUS社 三洋電機㈱テスラエナジー事業部 大阪・和歌山工場 和歌山製造課 課長 松原 一裕
- 理事 紀の川市役所 総務部次長 碓石 繁幸
- 理事 バンドー化学株式会社和歌山工場 工場長 谷口 登志治
- 理事 和歌山ノークョー食品工業㈱ 桃山工場 工場長 南 好記
- 理事 紀和化学株式会社貴志川工場 工場長 田中 雅宣
- 理事 社会福祉法人 皆楽園 総務課長 亀田 忠志
- 理事 医療法人殿田会 事務長 中山 太郎
- 理事 医療法人富田会 富田病院 事務長 楠山 隆也
- 理事 岩出市役所 総務部次長 木村 清隆

令和2年1月28日現在